※大規模修繕額が不明な場合

 $((a \times b) \times$

34,967,939

12,708,105

16,043,922

27,862,530

c/ (a+c))

貸借対照表価額

254,962,722

89,884,520

156,626,462

570,996,724

合計額

(①、②のいずれか)

34,967,939

12,708,105

16,043,922

27,862,530

91,582,496

社会福祉充実残額算定シート 1. 「活用可能な財産の算定」 金額 手入力(必須入力)するセルです(※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。) 資産(a) 2,463,615,227 負債(b) 733,961,083 計算式が設定されており、入力することはできません。 基本金(c) 263,117,522 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください) 国庫補助金等特別積立金(d) 416,693,106 合計 (a-b-c-d) 1,049,843,516 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。 2.「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」 プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。 (1) 財産目録における貸借対照表価額 1,551,965,300 合計 (a) (2)対応負債 金額 項目 1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金 28,536,000 1年以内返済予定設備資金借入金 1年以内返済予定リース債務 社会福祉連携推進業務設備資金借入金 544,807,000 設備資金借入金 合計(b) 573,343,000 (3)合計 金額 項目 財産目録合計(a) 1,551,965,30 対応負債合計(b) 573,343,000 対応基本金(c) 263,117,522 国庫補助金等特別積立金(d) 416,693,100 合計(a – b – c – d) 298,811,672 3. 「再取得に必要な財産」 (1) 将来の建替費用 (2) 大規模修繕に必要な費用 建設単価等上昇率 自己資金比率 一般的大規模修繕 建設時延べ床面積 ② 1 ㎡当たり単価上昇率 ④建設時自己資金比率 減価償却累計額 (小数点以下第4位 建設時自己資金 大規模修繕実績額 減価償却累計額 ①建設工事費 財産の名称等 合計額 取得年度 大規模修繕実績額 合計額① | ①、②のいずれか | ③一般的自己 | ③、④のいずれか 一般的1㎡当たり 当該建物の建設時の 建設時延べ床 資金比率 a/ (b/c) 高い方の率 高い方の率 取得価額(b) 面積(c) 376,603,622 1.241 290,000 631,566,344 1.302 376,603,622 古賀市新原字大田町840番地種類 老人ホーム 2,836.57㎡ **1996** 2,836.570 2,836.570 1.302 24.0% 117,681,099 23% -24.0% 56,684,795 古賀市新原字大田町840番地種類 老人ホーム 1,325.0㎡ 143,404,159 1.241 290,000 233,288,679 1,325.000 1.647 1.647 143,404,159 23% -1,325.000 1.527 古賀市新原字大田町840番地附属設備 1,486.53㎡ 125,769,878 1.173 290,000 282,396,340 1,486.530 1.527 24.0% 46,092,144 125,769,878 23% -1,486.530 宗像市河東福崎の前1072-1種類 老人ホーム 2,796.38㎡ 24% 214,316,000 153,763,589 153,763,589 1.108 2,796.380 29.6% 50,930,193 23% -214,316,000 1.119 2,796.380 724,760,313 1.119 29.6% 271,388,229 ※ 割合は小数点第4位四捨五入。

4.「必要な運転資金」

大規模修繕に必要な費用

設備・車輌等の更新に必要な費用

(4) 合計

将来の建替費用

(3)設備・車輌等の更新に必要な費用

項目

 項目
 金額
 月数
 合計額

 年間事業活動支出
 789,043,337
 12
 3
 197,260,834

221,957,128

金額

271,388,22

91,582,490

221,957,128

584,927,853

5.「計算の特例」

 項目
 金額
 月数
 合計額

 年間事業活動支出
 789,043,337
 12
 12
 789,043,337

6.「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除对象財産計 - 1,087,855,009	計算の特例適用
活用可能な財産	1,049,843,516		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	298,811,672		※「5. 計算の特例」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択する。
再取得に必要な財産	0		
必要な運転資金	0		
計算の特例	789,043,337		ること。
合計	-38,010,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」」

ı	1		A +-T
l		項目	金額
		社会福祉充実残額	-38,010,000
		社会福祉充実計画用財産	(
		合計	-38,010,000

⁄1